

---

最終講義

# 「植物細胞培養と40年」

## 細胞融合から合成生物学まで

---

佐藤文彦 教授

生命科学研究科統合生命科学専攻全能性統御機構学分野  
農学部応用生命科学科分子細胞育種学分野

---

植物における細胞培養研究は、1970年代画期的技術として注目されていたが、1980年代以降遺伝子組換え体の作出法が確立され、モデル植物（シロイヌナズナ等）の栽培が容易に行えることから、現在では、二次代謝研究等ごく限られた分野でのみ使われている。特に、近年、ゲノム編集技術や次世代シーケンサー等の発達により、栽培の困難な植物でも個体レベルでの解析がより容易になりつつある。では、植物細胞培養法はこのまま、消滅して行く運命にあるのであろうか？

40年あまりの研究を振り返り、何が課題で、今後、何か可能となるのか、課題整理するとともに、将来の植物細胞培養研究、植物分子細胞生物学、植物バイオテクノロジーを展望したい。（聴講自由・無料）



3月2日（金） 15:00～（約1時間）

北部キャンパス農学部大講義室W100室

連絡先 生命科学研究科全能性統御機構学分野

Tel: 075-753-6381 内線 (6381)